JGAP
米（玄米・精米）

（農）第四生産組合

農　場　情　報

基本情報

代表者　：竹野 勝行
所在地　：〒959-0311新潟県西蒲原郡弥彦村井田1552番地
構成員　：役員14名、常時従事者（組合長１名、社員６名、他４名）
栽培面積：73.8ha

経営理念

地域農業の存続・組織の安定化を確立するために所得の確保・労働安全・食品安全・環境保全・福利厚生・人権・福祉に関わる法令を厳守し、農産物生産のプロとして、継続的に栽培方法や経営方針を改善していく。

農場の特徴

弥彦村の３法人でＧＡＰ認証を協力して継続、株式会社伊彌彦を立ち上げ、伊彌彦ブランドで農産物を販売
伊彌彦米（特別栽培米コシヒカリ・新之助、農薬化学肥料不使用コシヒカリ）伊彌彦えだまめ、やひこ太郎しいたけ、小麦、大豆

ＧＡＰ認証

取得状況

取得年：平成29年
継続年数：６年
更新回数：３回

きっかけ

当初は、オリパラを契機にＧＡＰ導入によって付加価値がつくと思ったから。県からの提案、村の指導と取得費用の補助があり、３法人で同時に取得した。

継続理由

・従業員の自主的なコミュニケーションが増加。
・第三者の確認で、問題点が改善。
・農場内の機械・設備・農薬等の一覧表を年１回点検することで整理・整頓が進む。農薬庫は５Ｓが実践されている。

問い合わせ先
Tel：0256-94-2662　Fax：0256-94-5272
https://specialite-yahiko.jp/sp-iyahikomai/
E-mail：dai-yon@oregano.ocn.ne.jp

ＧＡＰの取組

労働安全

・ＧＡＰの実践項目を書面化
・３法人と法人内で年１回ずつ研修会を開催

人材育成

・代表の右腕となる人材を育成。
・研究会や４ＨＣ等への参画を推奨している。

労務管理

・雇用契約書を書面で交付
・就業規則を備えている。
・給与、法人内の雰囲気、福利厚生について個別面談を年１回実施。

ＧＡＰの効果や改善（特に従業員の変化）

・同時取得３法人でＧＡＰに対応しているので、担当者間で情報交換が進み互いに伸びている。
・若い従業員の自主性が伸びている。
・従業員間で目標の共有ができている。